

Don't Squeak With Your Mouth Full!!

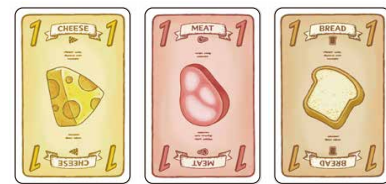
みんなでいただきマウス

プレイ人数 ● 2~5人
プレイ時間 ● 20分
対象年齢 ● 8歳~

おはなし

プレイヤーはネズミの家族となり、目の前に並んだごちそうを取り合います。食べ物をとりすぎてしまうと、他のネズミたちにお裾分けをしなければなりません。食べ物を一番多く獲得できるのはどのネズミでしょうか。

内容物



食べ物カード
(16枚×5種類)

チーズ 肉 パン
フルーツ 野菜



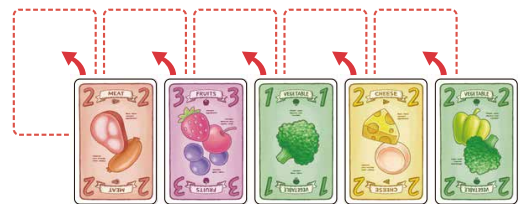
いただきチップ
(1枚)



ゲームの準備 (プレイ人数: 3~5人)

- ①プレイ人数によって使うカードの種類が変わります。使わない種類の食べ物カードはすべて箱に戻します。
3人: 3種類使う
4人: 4種類使う
5人: 5種類使う
- ②使う種類の食べ物カードをすべてウラ向きにしてよく混ぜ、ひとつの山札を作ります。
- ③山札から各プレイヤーにウラ向きのまま4枚ずつ配ります。各プレイヤーは配られた食べ物カードを自分だけ確認して、手札として持ちます。
- ④テーブルの中央全体のことを「場」と呼びます。場にプレイヤー数+1枚の食べ物カードを置けるスペースを用意します。これら一つ一つのスペースを「皿」と呼びます。山札から各皿に1枚ずつ、食べ物カードをオモテ向きにして置きます。

例



4人プレイ時は5つのスペース(皿)を用意し、それぞれの皿に1枚ずつ食べ物カードをオモテ向きに置きます。

- ⑤じゃんけんで勝ったプレイヤーがいただきチップを受け取ります。



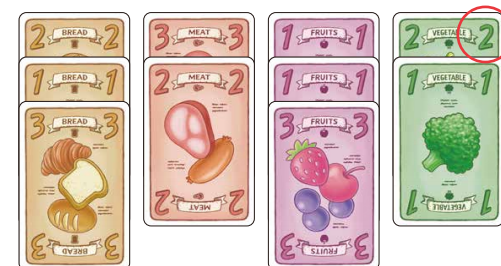
ゲームの流れ (プレイ人数: 3~5人)

以下の①~⑤を順番に行います。後述のゲーム終了条件を満たすまで①~⑤の流れを繰り返します。

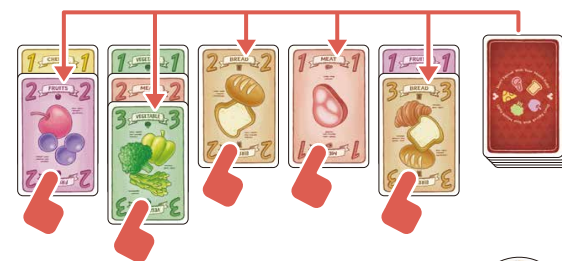
- ①各プレイヤーは場から取りたい皿1つを頭のなかで選びます。選んだら「チュー」と言って準備できたことをみんなに伝え、人差し指を1本立てます。



- ②全員準備できたら、「いっせいのせ」で場の皿(食べ物カード)を全員一斉に指差します。
- ③各プレイヤーは指差した皿の食べ物カードを手に入れます。複数枚のカードが重なっている皿を指差した場合、重なっているカードすべてを手に入れます。もし、複数のプレイヤーが同じ皿を指差していたら、同じ皿を指差していたプレイヤーはカードを手に入れられません。複数のプレイヤーが同じ皿を指差することをバッシングと呼びます。
- ④取ったカードは自分の前に、種類ごとに数字がわかるようオモテ向きの列にして並べます。



- ⑤山札から各皿に1枚ずつの食べ物カードをオモテ向きにして追加します。とっていない食べ物カードがある場合は、その上に数字が見えるように置きます。誰も選ばなかったり、バッシングしたりして場にカードが残った場合、下記のように食べ物カードが重ねられていきます。このように重ねられた食べ物カードがある皿を指差す際、最後に重ねた食べ物カードを指差します。



いただきチップ

いただきチップを持っているプレイヤーはバッシングが発生した場合でも、指差している皿の食べ物カードを手に入れます。食べ物カードを獲得した後、同じ皿を指差した他のプレイヤーにいただきチップを渡します。他のプレイヤーが複数人の場合は時計回りで最も近いプレイヤーにいただきチップを渡します。

ゲームの終了

山札から皿に食べ物カードを追加した後に、山札が3枚以下になったら、もう一度①~④の流れを行い、ゲーム終了となります。

得点計算 (プレイ人数: 3~5人)

ゲーム開始時に配った食べ物カードをオモテ向きに公開し、自分の食べ物の列に加えます。種類ごとに食べ物カードに書かれた数字の合計数が一番大きいプレイヤー「欲張りなプレイヤー」を決めます。合計数が同じプレイヤーが複数いる場合、その全員が「欲張りなプレイヤー」となります。欲張りなプレイヤーは数字の合計数が大きかった種類の食べ物カードを自分だけが見えるように手に持ちます。右隣と左隣のプレイヤーは欲張りなプレイヤーの持つ食べ物カードから1枚ずつ取り、自分の食べ物の列に加えます。



これをチーズから始め、肉、パン、フルーツ、野菜の順で1回ずつ行います。ゲームで使用していない種類の食べ物カードは行いません。

欲張りなプレイヤーが複数人いる場合、その全員について同様の処理で右隣と左隣のプレイヤーが欲張りなプレイヤーの持つ食べ物カードから1枚ずつ取り、自分の食べ物の列に加えます。他の欲張りなプレイヤーから獲得した食べ物カードは隣のプレイヤーに取られる対象にはなりません。

注意

欲張りなプレイヤーから食べ物カードを取った結果、その種類の合計数が一番多いプレイヤーになっても欲張りなプレイヤーにはなりません。

例



手持ちのすべての食べ物カードに書かれた数字の合計を数え、最も合計数の高いプレイヤーの勝ちです。合計数が同じ場合は、いただきチップを最後に持っていたプレイヤーの勝ちです。どのプレイヤーもいただきチップを持っていなかった場合は、引き分けとなります。

ゲームの準備 (プレイ人数: 2人)

- ゲームの準備(プレイ人数: 3人~5人)と以下が異なります。
- ①2人: 4種類使う
 - ④場に5枚の食べ物カードを置けるスペースを用意します。これら一つ一つのスペースを「皿」と呼びます。

ゲームの流れ (プレイ人数: 2人)

- ゲームの流れ(プレイ人数: 3人~5人)と以下が異なります。
- ①各プレイヤーは場から取りたい皿を頭のなかで2つ選びます。選んだら「チュー」と言って準備できたことをみんなに伝え、右手と左手の人差し指を1本立てます。

ゲームの流れ (プレイ人数: 2人)

得点計算(プレイ人数: 3人~5人)と以下が異なります。欲張りなプレイヤーから食べ物カードを2枚取り取ります。2人とも合計数が同じだった種類の食べ物カードは欲張りなプレイヤーがいなかったことになり、カードを取りません。

ゲームデザイン ● 佐藤敏樹 アートワーク ● たかみまこと
校正 ● 矢沢賢太郎さん・かゆかゆさん
製造・販売 ● さと・ふみりあ toshikis227@gmail.com

©2021 Toshiaki Sato/Makoto Takami